

## 第15回 200年の森づくりデザイン策定実行委員会

日 時：平成24年12月3日（月） 9:00～12:15

場 所：赤城南麓森林組合、森づくり計画策定候補山林

参 加 者：大松 稔（NPO法人ぐんま緑のインタープリター協会）、田中洋助（ぐんま森林インストラクター会）、菊川照英（NPO法人フォレストぐんま21）、高橋正直（群馬県渋川森林事務所長）、田村 宏（前橋市農政部長）、石塚 征人（赤城南麓森林組合）、岡田 茂（サンデンファシリティ株式会社）、長島 成和（株式会社興林）、小林善紀（事務局）

以上8名

### 議 事 録

#### 議 題

1、前回（第14回）議事録によるレビュー。

事務局により、第14回議事録朗読を行い承認された。

2、200年の森づくりデザイン策定について（5～6回の実行委員会等を経て）  
方向性の共有化と時系列計画について

- ・ 3エリア内でサンプル的団地化を図り、森づくり計画案を提案する
- ・ 水源林を選び出し、森づくり計画を提案する
- ・ 具体例としての提案（三夜沢地区森づくり）について
- ・ 石塚さんによる松林配置図に河川図を加えた資料の提供と解説。

資料が複雑のため、提供と解説は次回となった。

- ・ 具体的提案論旨の検討（章立て等）

基本的には次回おこなうが、長島さんから具体的提案として はじめに 目的 自然的立地環境の流れの中で、自然的立地環境パートを担当してもよいとの発言を頂いた。

- ・ 計画候補地の打診結果報告

青エリアとして小林卓也氏所有の金丸地域山林約5ha について、所有者の協力意向を田中さんから説明頂き、航空測量図で確認した。また、事務局より標高750m付近にある小野里工業株式会社所有山林について小野里社長の協力意向の話が伝えられ、既に所有者の意向が前回伝えられた三夜沢地区山林を合わせて3地域を森づくりデザイン策定の対象山林とすることが了承された。

- ・ 現地調査：三夜沢地区山林（薄青エリア）

AM10:00 現地入り、35林班 33-1、33-2、37、29-1、29-2、28 小班 合計約5ha 下見と土壌調査





・ 田中さん提案の小林卓也所有山林（青エリア） 航空測量図で確認済、約 5ha  
AM11:15 現地入り、松枯れは 100%進み、枯れ立木が一部残り、大変危険な状態である。広葉樹主体の混交林で、手入れ次第では室沢交流の森のように成り得る。カブトムシの育成林の話題も出た。



・ 小野里工業所有松林（濃青エリア） 約 11ha  
AM11:45 現地入り、濃青地域標高 800m 付近 50%は松枯れ、期間を経ずして 100%に向う見込み



・ 時系列計画の確認

12 月中に大松座長と事務局小林で デザイン策定にむけて打ち合わせを行うことになった。  
2 月始めの実行委員会で章立てと担当パートを決定する。  
3 月始めの実行委員会で最終案を検討していくことにする。

3、上下流域市民による水源の森づくり実践について（シブヤ大学等）

日時：平成 24 年 12 月 8 日（土）11:00～16:00

場所：室沢交流の森

内容：間伐、林地整備

参加者は 70 人程度になる見込み

4、その他

次回及びその次の日程

日 時：平成 25 年 2 月 4 日（月） 14：00～16：00

平成 25 年 3 月 4 日（月） 14：00～16：00

場 所：前橋市市民活動支援センター 会議室